

平成24年11月10日（土）熊本
全国学校保健学校医大会

いまどきの児童・保護者向けに
工夫した外眼部視診のポイント

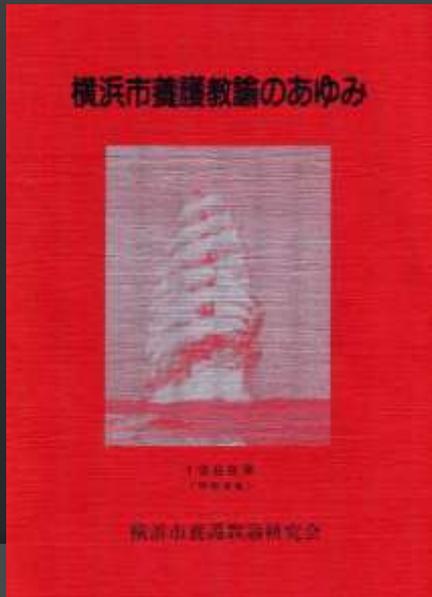
外眼部健診で分かること、と 分からないこと

ちぐさ眼科医院 院長
鈴木高遠
（神奈川県横浜市）



「外眼部視診」のルーツ

- ◆ 明治30年 学校身体検査規定（横浜市）
- ◆ 明治31年 トラホーム（学校伝染病）
- ◆ 明治33年 学生生徒身体検査規定
- ◆ 昭和33年 学校保健衛生法



「外眼部視診」のルーツ

- ◆ 1861年 白内障13件 癍痕性睫毛内反30件。
J. C. Hepburn 神奈川宗興寺施療所にて。
- ◆ 明治30年 学校身体検査規定（横浜市）
- ◆ 明治31年 トラホーム（学校伝染病）
- ◆ 明治33年 学生生徒身体検査規定
- ◆ 昭和33年 学校保健衛生法



(1815-1911)

横浜市養護教諭のあゆみ



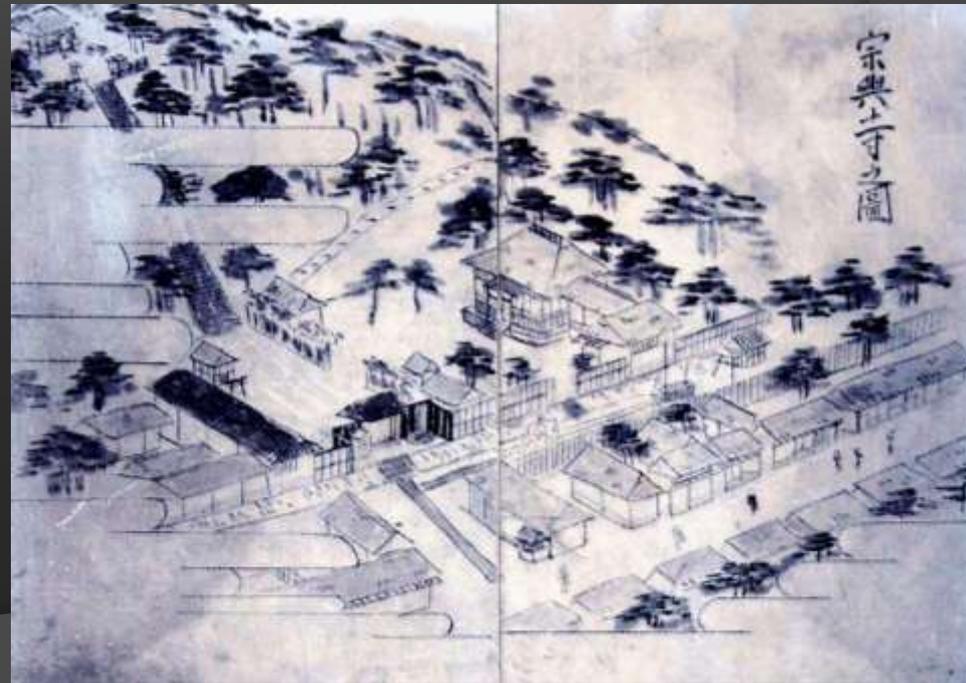
「外眼部視診」
（複製写真）

横浜市養護教諭研究会

日本眼科医会における
学校医活動の沿革と課題

財団法人 日本学校保健会発行
「日本学校保健会八十年史」別刷

平成17年3月25日発行



「外眼部視診」のルーツ

- ◆ 1861年 白内障13件 癥痕性睫毛内反30件。
J. C. Hepburn 神奈川宗興寺施療所にて。
- ◆ 明治30年 学校身体検査規定（横浜市）
- ◆ 明治31年 トラホーム（学校伝染病）
- ◆ 明治33年 学生生徒身体検査規定
- ◆ 昭和33年 学校保健衛生法



(1815-1911)

横浜市養護教諭のあゆみ



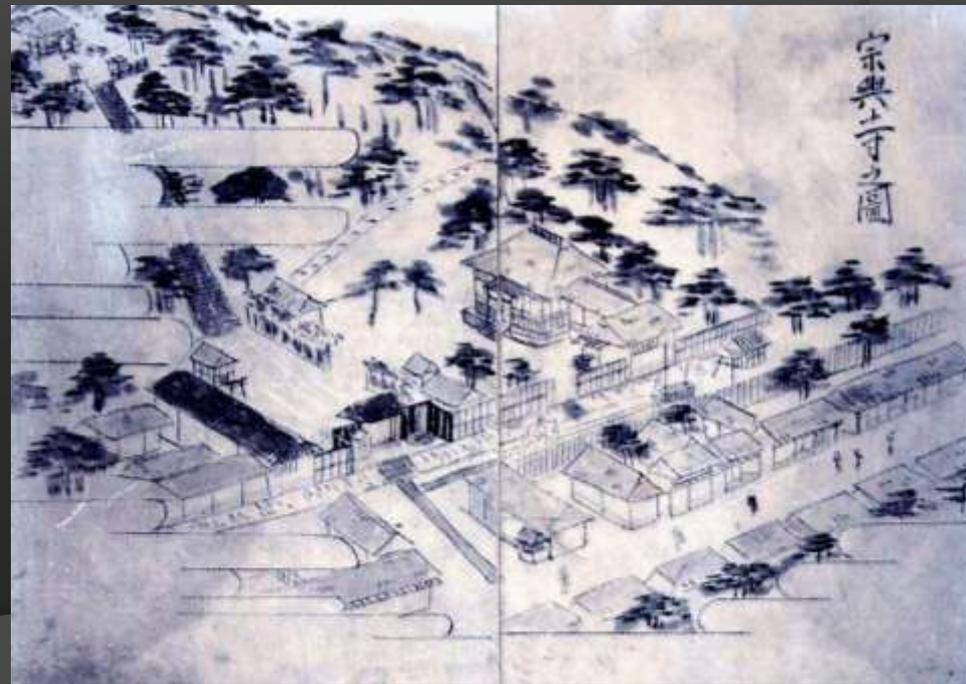
「養護教諭」
（学校保健）

横浜市養護教諭研究会

日本眼科医会における
学校医活動の沿革と課題

財団法人 日本学校保健会発行
「日本学校保健会八十年史」別冊

平成17年3月25日発行

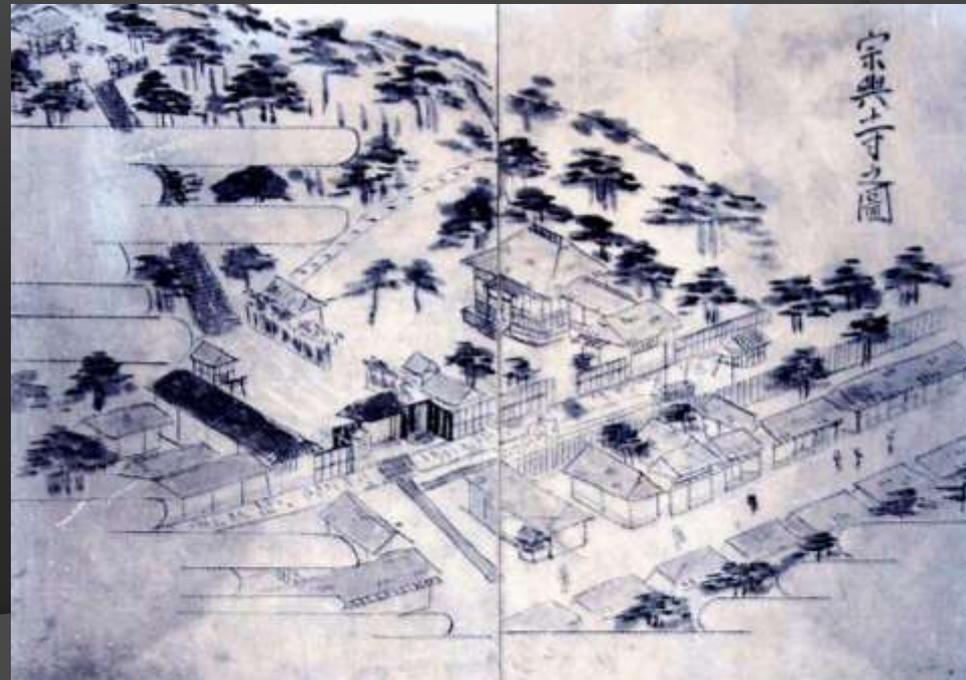
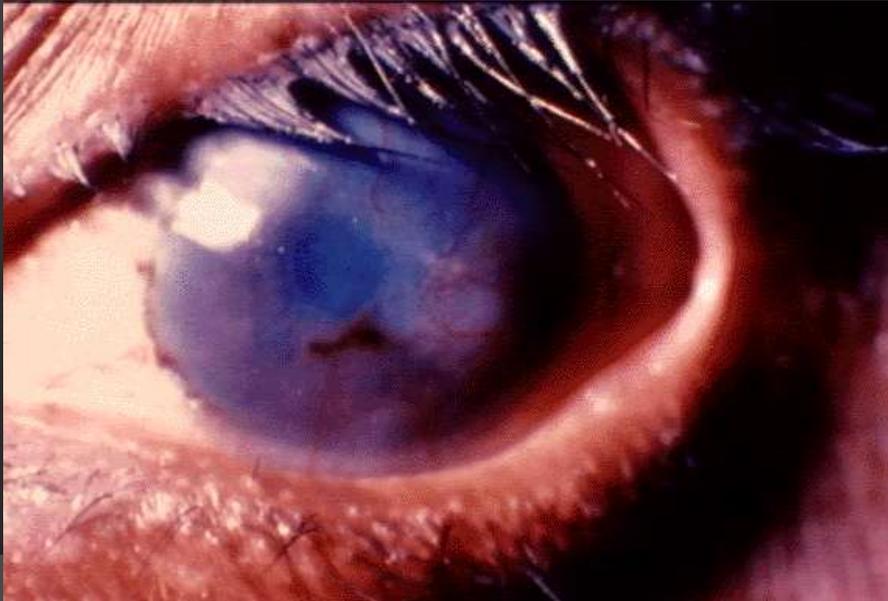


「外眼部視診」のルーツ

- ◆ 1861年 白内障13件 癍痕性睫毛内反30件。
J. C. Hepburn 神奈川宗興寺施療所にて。
- ◆ 明治30年 学校身体検査規定（横浜市）
- ◆ 明治31年 トラホーム（学校伝染病）
- ◆ 明治33年 学生生徒身体検査規定
- ◆ 昭和33年 学校保健衛生法



(1815-1911)



平成＞昭和＞以前；時代に伴う変化

- ◆ 感染性結膜炎は漸減

トラホームの激減、アレルギー性は漸増

- ◆ 斜視・斜位は横ばい

3D（両眼視）環境は増加

- ◆ 眼鏡装用者は漸増

ゴーグル普及未だ、眼外傷は横ばい

- ◆ コンタクト、中高では多数派に

オルソK・レーシックの予備軍

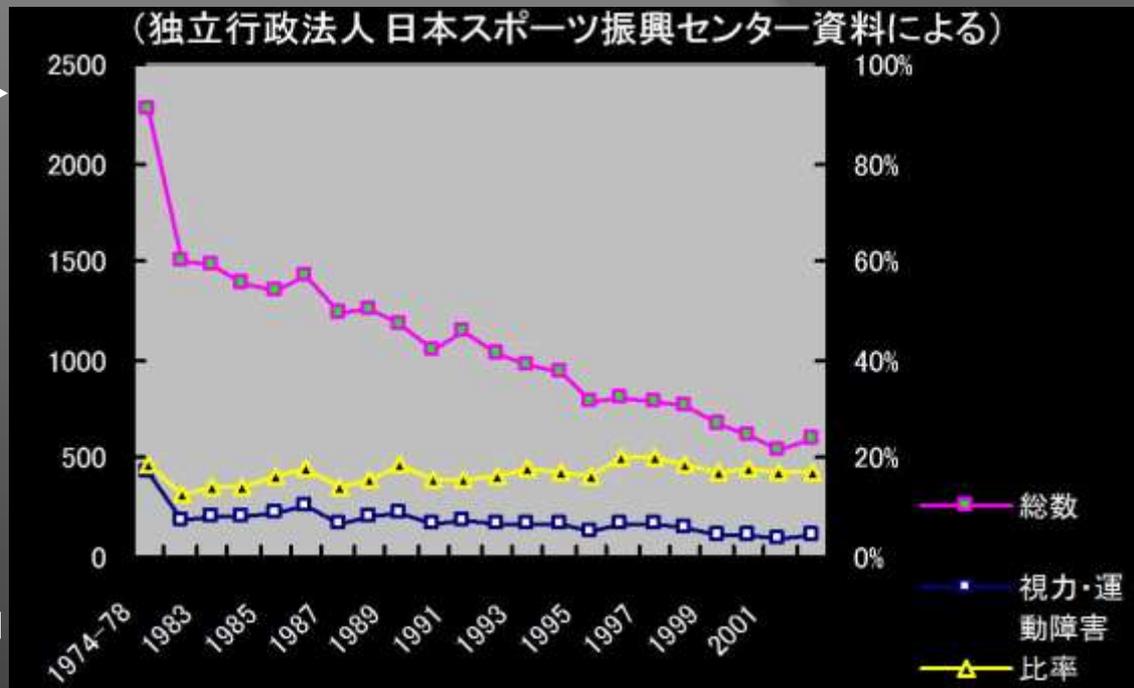
- ◆ 色覚検査、必須から削除

カラー・低視カバリアフリーは未だ道半ば

- ◆ 権威は徐々に低下

リベラルな意識、訴訟・クレマーの増加

平成 > 昭和 >



◆ 眼鏡装用者は漸増

ゴーグル普及未だ、眼外傷は横ばい

◆ コンタクト、中高では多数派に

オルソK・レーシックの予備軍

◆ 色覚検査、必須から削除

カラー・低視カバリアフリーは未だ道半ば

◆ 権威は徐々に低下

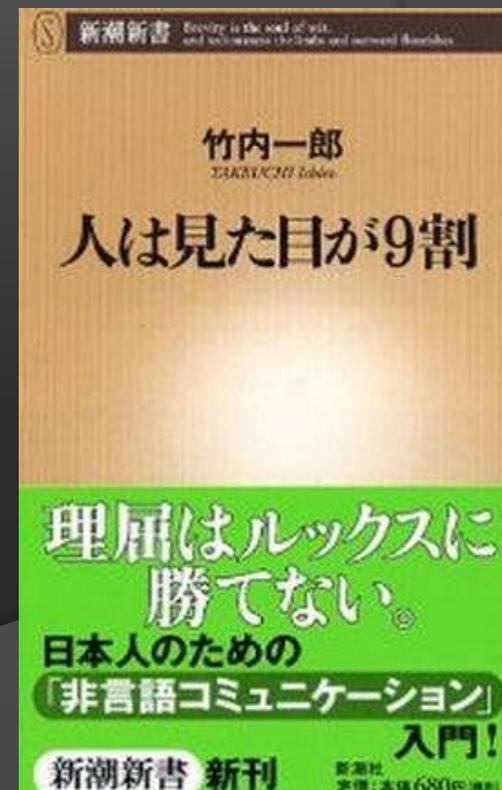
リベラルな意識、訴訟・クレーマーの増加

これからの外眼部健診

スピーディな健診能率と評価評判,啓発効果、両立の工夫

- ◆ 権威・画一 → ソフトタッチ
- ◆ 手が届く指導・啓発
- ◆ 能率は落とさない

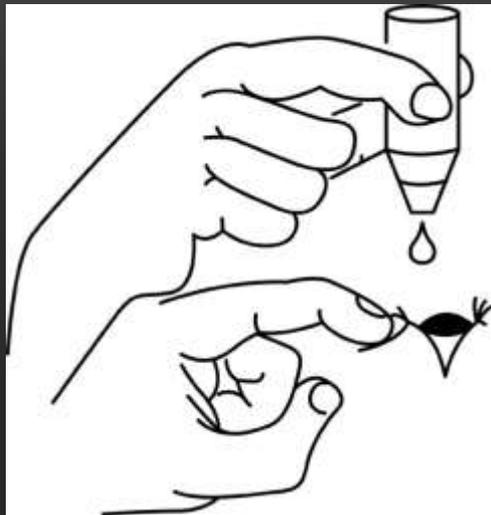
- ◆ 手渡しプリント、ポスター、保健委の講話で健康教育・啓発
- ◆ 非言語コミュニケーションを活用
（目線高, 笑顔, 挨拶, 服装）
- ◆ 距離感を活かして雰囲気・演出
（他生徒から距離）



外眼部感染症を疑う者に手渡すプリントの例

「目が赤い」と言われたら

眼科医で診察を受けてください。ゴミやまつ毛の可能性、まぶたの炎症、細菌性結膜炎、ウィルス性結膜炎、アレルギー性結膜炎の可能性があり、強膜炎や、より重症で視力に障害が残る虹彩炎・角膜炎の可能性もあります。



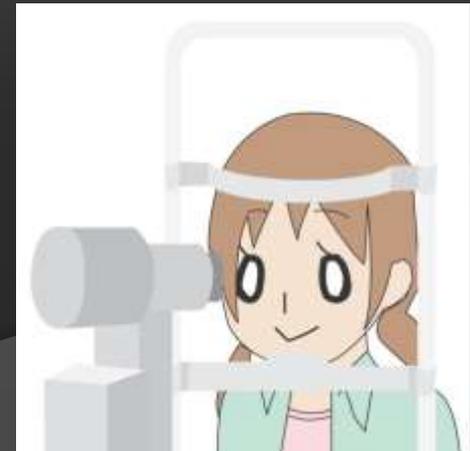
多いのはアレルギーで、他のアレルギー、コンタクトレンズに注意、点眼治療が必要かも。まぶたの「しこり」は、ものもらい（麦粒腫・霰粒腫）で、治療が必要かも。

斜視・斜位を疑う者に手渡すプリントの例

「斜視のうたがい」と言われたら

眼科医で診察を受けてください。一見目立たないようでも左右の眼の向きが揃っていない可能性があります。今は何の不都合も無くとも将来、目の疲れや容貌や運転免許、3Dの見え方に支障がでることもあり、小さいうちなら治療できる場合もあります。

小さい時期には全身麻酔、中学生になれば局部麻酔の手術で治せます。



保護者に渡す色覚検査啓発プリントの例

色覚検査は済ませましたか？

全員必須ではないので全校規模では行いません。

色覚に確証がない場合、申し出ていただければ、当校で色覚検査のスクリーニングを受けられます。小さい時期には不自由がなくても検査で初めてわかる場合があります。



将来、仕事の内容によっては支障の出てくる場合もあります。進路を決めるのに大切です。早めにお子様の色覚特性を確かめるようお勧めします。

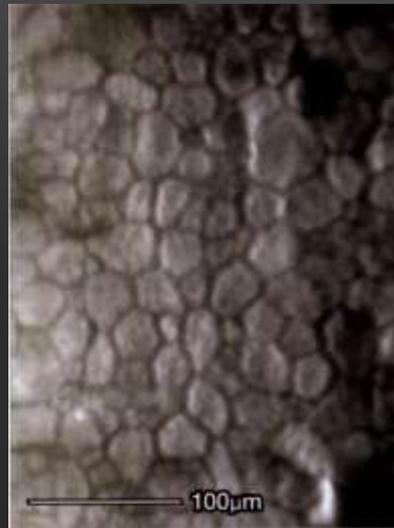
コンタクトから目を守るポイント

- ◆ メガネを併用しましょう。さもないと無理をしがちです。外出時も持って行きましょう。
- ◆ ソフトを入れてると痛みを感じにくくなります。充血してないか、鮮明に見えるか、チェックする習慣をつけましょう。
- ◆ 乾燥・カユミ・メヤニ・充血・ものもらいなどソフトが一因かも、定期健診を受けましょう。

角膜内皮障害



正常な角膜内皮細胞



コンタクト装用で障害された角膜内皮細胞

- ◆ 強度の近視には網膜剥離のリスクが隠れています。また酸素不足での黒目の細胞減少が心配です。数年に一度は眼科専門医で検査がお勧めです。
- ◆ 保存液の殺菌は不完全です。レンズは毎回、こすり洗いが必要です。プラスチックケースも熱湯を掛けてカビやアメーバを退治しましょう。

コンタクトレンズ(つづき)

- ◆ 使い捨てのでも、1/500～1/1000の欠陥品。毎日使用するなら1年半に一回は不良品。入れて変なら、取り換えましょう。
- ◆ 装用は12時間まで。それ以上だと目の細菌が増えます。朝7時開始なら夜7時にはメガネに変えましょう。
- ◆ 眼外傷・異物飛入・刺激乾燥など予防に、レンズは無益です。バイクや自転車・埃っぽい現場・電動工具・トンカチやペンチを使う作業・ラケットスポーツの際にはメガネやゴーグルに変えましょう。
- ◆ 保存液の期限を守る。古くなると劣化します。

レーシックでも50歳以降はメガネが必要。夜の灯火の滲みやゴースト、痛みやドライアイ・角膜障害のリスク。将来、緑内障などの診療にも問題。レーシックをした眼科医は稀で、中年以降働かずに食べていけるセレブやプロ選手以外には勧めにくい。眼科専門医に相談を。

「早っ! それで何が分かるの?」

と、聞かれたら

眼科専門医なら

目元をひと目診て分かる所見

- ◆ 意思、関心、感情、意識レベル。
- ◆ 脳神経（Ⅱ～Ⅶ）、運動／感覚／自律神経。
- ◆ 外眼部；アレルギー、循環障害、変性、感染。
- ◆ 斜視・斜位、眼振、先天後天麻痺。
- ◆ 眼鏡、化粧、毛染め、ヘアスタイルの適・不適。
- ◆ 異物・睫毛・瞬目・角膜病変・ドライアイ。
- ◆ 角膜混濁、白内障、コンタクト。
- ◆ 黄疸、貧血、脱水、発熱、栄養。
- ◆ 眼窩、涙器、腎・甲状腺疾患。
- ◆ 外傷、虐待、発達障害。

「生涯保健は健康教育から」 健診の際にも、適切なメッセージを

- ◆ 医療崩壊瀬戸際、ニセ情報氾濫の今日、保健の基本は正しい知識と賢明な行動。
- ◆ 20年近く前から、学校保健の基本は

セルフエスティーム

ライフスキル

「自尊の心」，「生きる力」，「健康教育」。

これをよらしむべし

しらしむべからず

- ◆ 改めたい；民可使由之。不可使知之。（泰伯）
- ◆ 健診スピードを維持しながらの健康教育、学校保健委員会での啓発に活用したい；

手渡しプリント・レジメ・ポスター。